

全国キャリア教育・就職ガイダンス
ー障害のある学生のキャリア教育・就職支援についてのセッションー

テーマ：障害のある学生のキャリア教育・就職支援

(2019年6月11日)



塚田 吉登 (つかだ よしと)

本日の内容

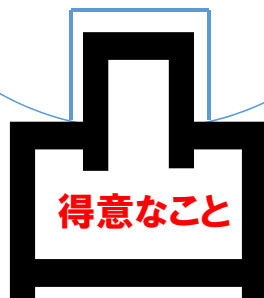
- 発達障がいのある方の『就労と定着』
～ 事例に基づいて ～
- 『大学』と『支援機関』が連携する意義とメリット
～ 関西学院大学との提携事例を踏まえて ～



発達障害のある方の『就労』と『定着』 ～ 事例に基づいて ～

能力の凸凹を仕事に活かすには？

例えば・・・
・ルーティーンワーク
・尖ったIT知識、技術
・見たモノを忘れぬ記憶力

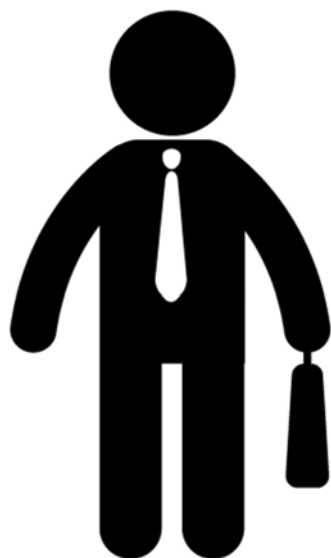


例えば・・・
・業務指示の出し方
・職場環境の調整



雇用事例

<発達障害者>



【障害名】

広汎性発達障害

【性別】

男性

【就職先】

某ブライダル企業

【業務内容】

一般事務

～採用に至る経緯～

大学在学中に発達障害の診断を受け、障害者手帳を取得。それに伴い、障害者雇用での就職活動を検討するも、どうしてよいのか分からず相談がスタート。

【障害特性の見極めを実施】
(学内にて)

- キッチンの清掃



- 事務作業



わかったこと

- 業務に活かせる障害特性
- 就労上、必要な配慮事項

卒業と同時に就職決定！



～採用後～

【活かした能力】

- タイピング力
- 一度見た事への記憶が早い
- 文字認識が高い



【配慮が必要になった点】

- 耳から入る情報が記憶に定着しづらい。
- 目からの情報が入りやすい為、他の職員の動きや、ドアの開閉などに敏感に反応してしまう。



【マッチングした業務内容】

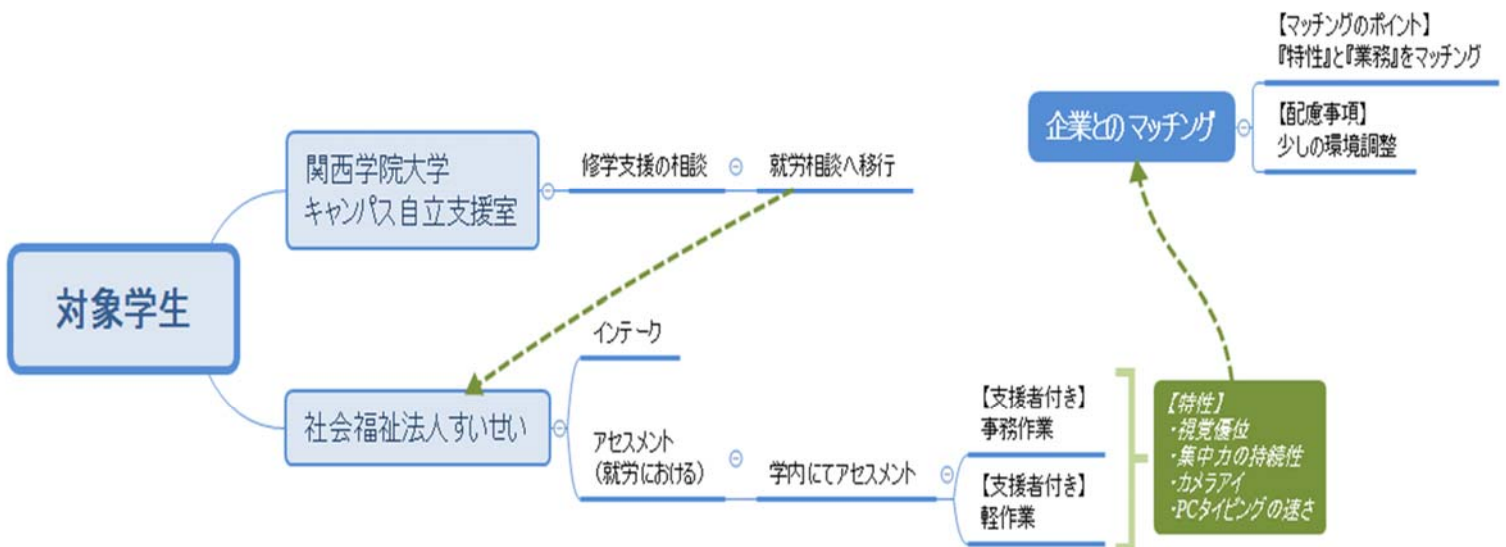
- 契約書作成業務
- 書類チェック業務

【配慮のポイント】

- 業務のチェックリストを作成し、業務の段取りと進行具合が目で見て分かるように工夫。
- デスクの配置を壁に向かうようにし、人の動きが視界に入らないよう工夫。

【結果】

- 業務の記憶定着が早くなった。
- 集中力が格段に上がった。



現在、勤務開始5年が経過。結婚もされて、仕事に家庭に、頑張っておられます！！



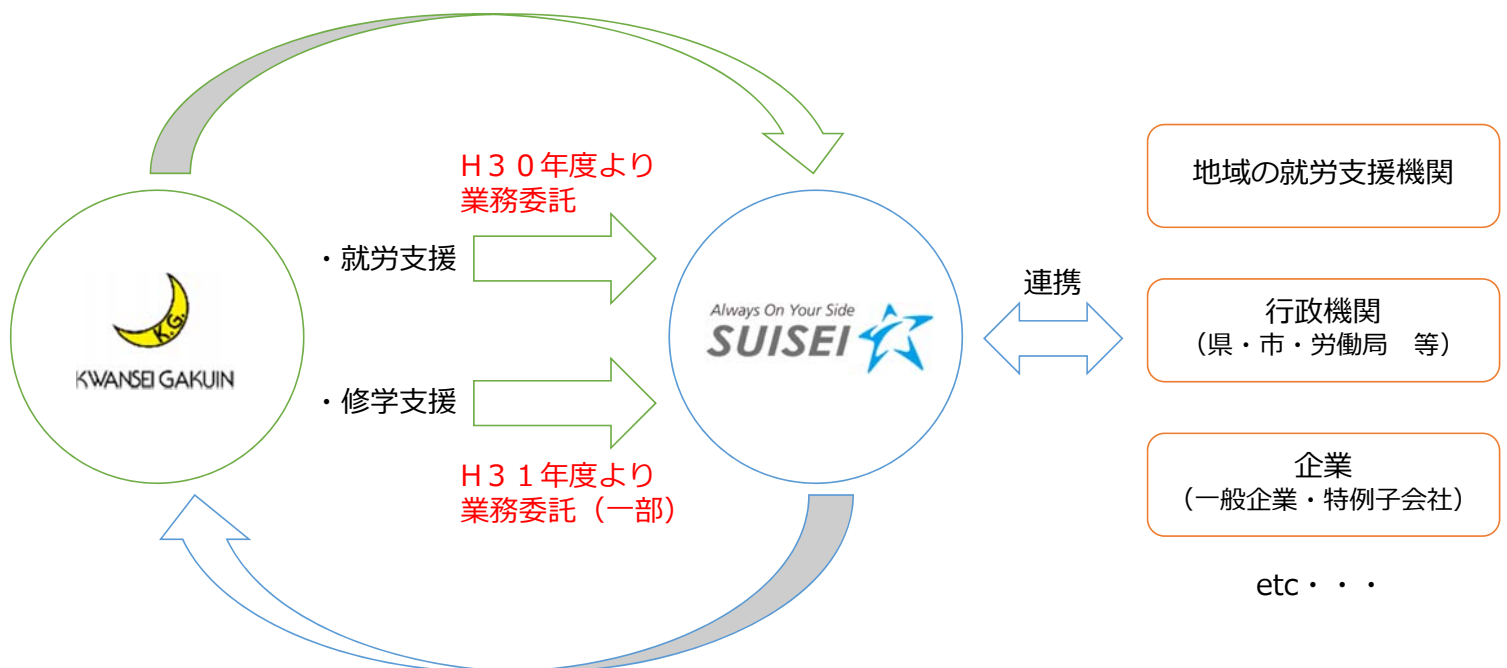
— VTRをご覧ください —

『大学』と『支援機関』が連携する意義とメリット
～ 関西学院大学との提携事例を踏まえて ～

— VTRをご覧ください —

関西学院大学×SUISEI 提携・協働イメージ図

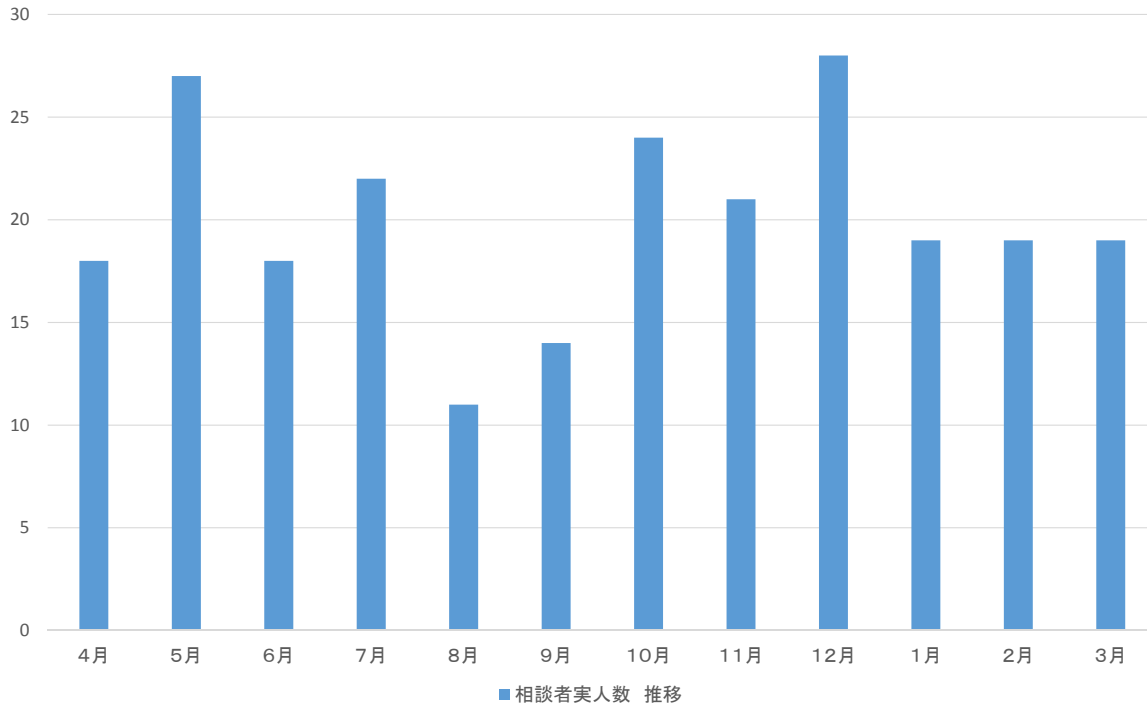
大学で培った知識・支援スキームの共有



地域で培ったネットワーク・支援スキームの還元

学内の就労支援ニーズ①

相談者実人数 推移



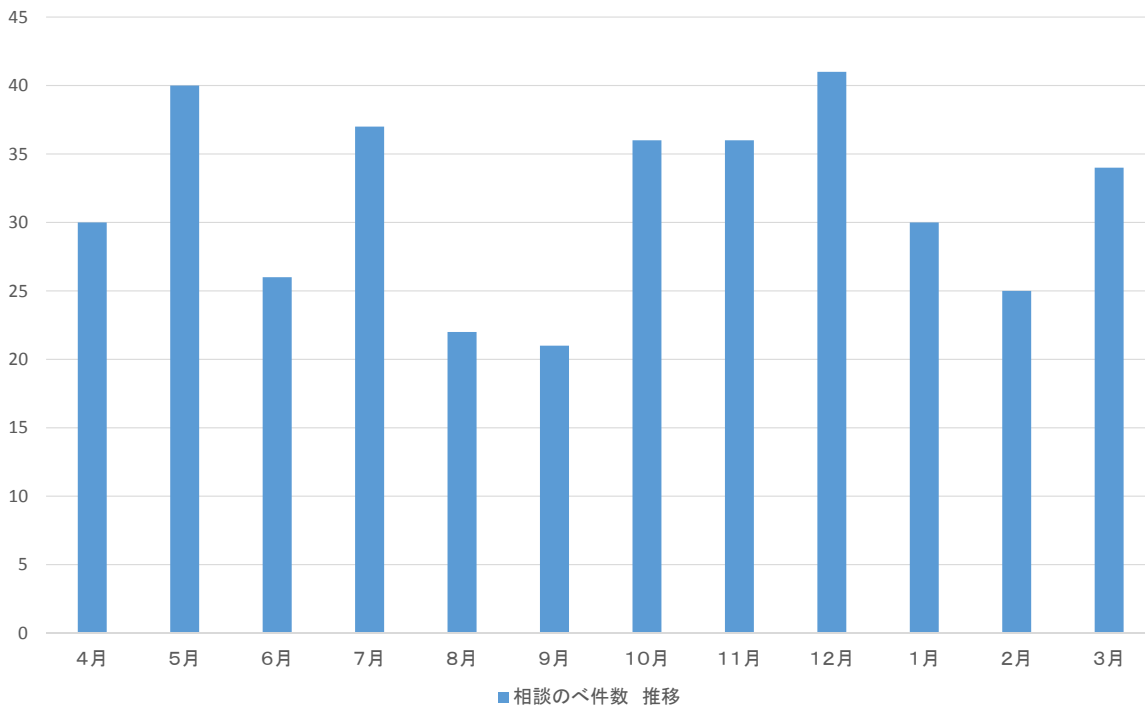
【年間合計】
240名

【月平均】
20名

(週3日×10か月分の勤務)

学内の就労支援ニーズ②

相談のべ件数 推移



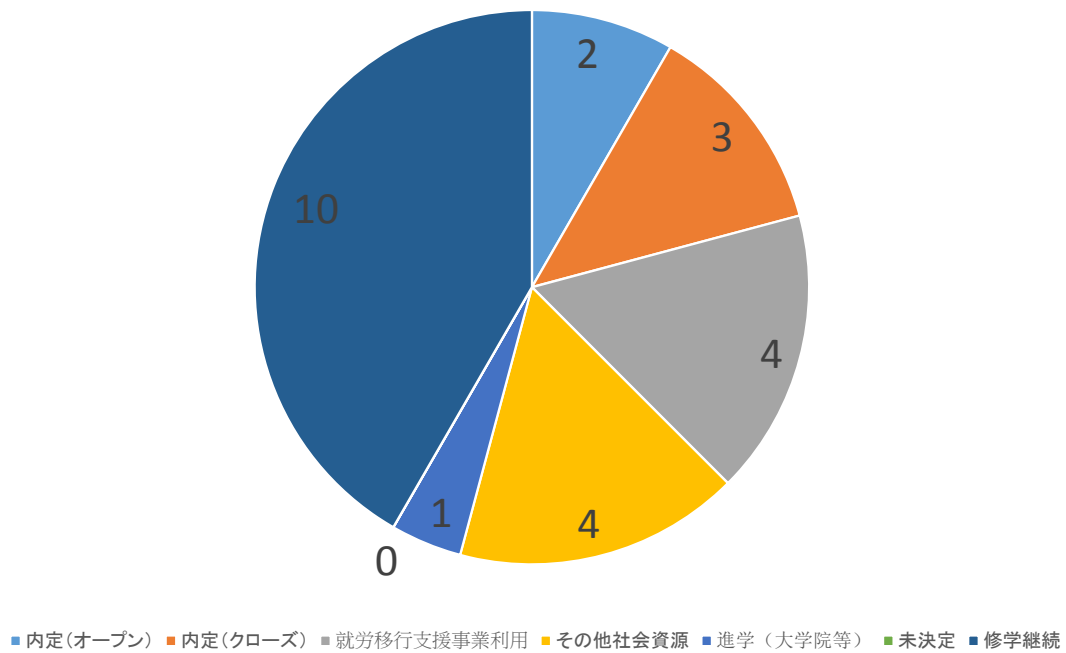
【年間合計】
378件

【月平均】
32件

(週3日×10か月分の勤務)

学内の就労支援ニーズ③

H30年度 進路決定状況
(H30年度卒業年次にあたる学生24名中)



『就労支援コーディネーター』に学生から求められたこと

1位

・ 支援機関の利用について (相談の約30%)

2位

・ インターンシップ(障害者雇用)について (相談の約25%)

3位

・ オープン就労(障害者雇用)の具体的な方法について (相談の約20%)

全相談内容の約70%が

『支援機関の存在について』
『障害者雇用の実態について』

であったことをどう受け止めるか？

障がい学生に関わる就職支援担当者は
『一般的な就職活動』
について対応するだけでは不十分



『地域の社会資源』
『障害者雇用の現状・実態』
など
『就労における特別支援ニーズ』
に対応する知識・技術が必要

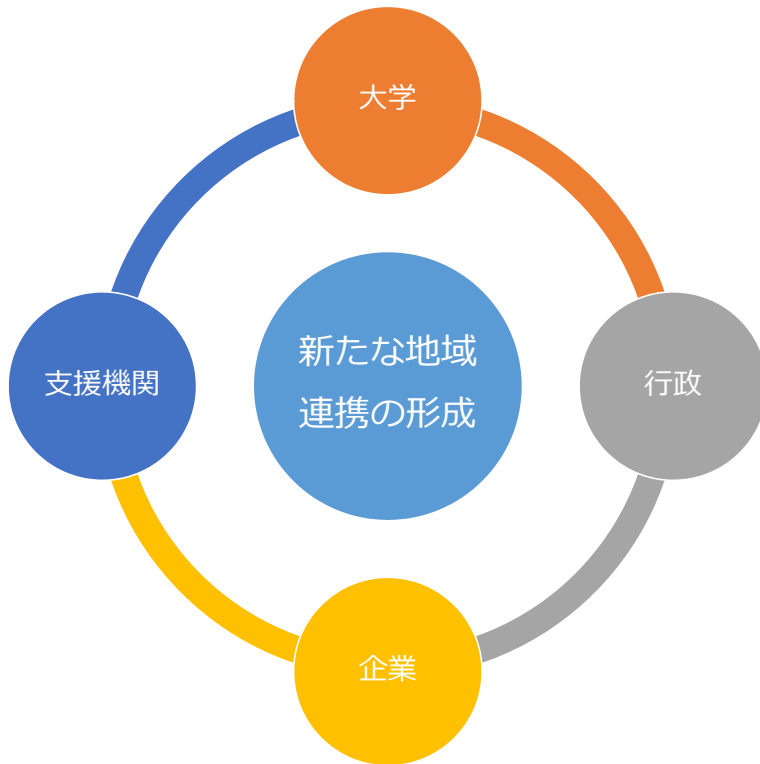
『大学』と『地域支援機関』が連携・協働することのメリット

- 地域で培ったノウハウを迅速に共有することが可能となる
- 障害のある学生が大学内では得にくい情報を提供することができる
- 地域の支援サービスを必要とした時にネットワークを活用できる
- 大学で培っている知識・技術を地域の支援に活かすことができる

etc . . .

お互いが知り得なかった情報や知識・スキームを提供し合い、
『互いを補完し合う関係』
を構築し、現場の支援に即座に活かせることが最大のメリット

目指したい障害学生支援モデル




各分野が培ってきた

『知識』
『技術』
『ノウハウ』
『ネットワーク』

が繋がり、新しい価値が創造される地域づくり

ご清聴ありがとうございました。

PLUS U = Always On Your Side **SUISEI** 

PLUS U = **YOU**
大学生

PLUS U = **University**
大学

障害のある学生
に向けて

新たなプラス
新たな価値

を提供する為に

【事業名】
PLUS U (プラス・ユー)

【住所】
〒655-0893
神戸市垂水区日向2丁目2-4
垂水日向ビル3F

【TEL】
078-747-0311

【FAX】
078-704-4040

【MAIL】
plus-u@sfsuisei.org

【URL】
<http://www.plus-u-sfsuisei.org/>